

北里蘭 きたはら 蘭人、國語研究家。明治二年二月二十日肥後國阿蘇郡北
小國村生れ（一八七〇）。號巴扇、沿池庵主人、龍堂、龍堂居士。同志
社、次で國學院卒。同志社在學中池袋清風の門に入り、のち高崎正風、
鎌田正夫の親炙。ドイツに留學して言語學を修め、日本語源の研究に
從事。大阪醫科大學豫科教授。

著書に『脚本（こ）ころ』（明治二十六年四月十四日春陽堂）、『日本古代
語と國民精神』（昭和十一年八月八日大阪・紫苑會）、『國うみの辭』
（内題「國産みの辭」昭和二十七年十一月十一日大阪・私家版）、『新
日本國民の告ぐ』（昭和二十一年八月十五日大阪・紫苑會）、『高崎
正風先生傳記』（昭和二十四年八月二十八日大阪・私家版）等。